

木材価格市況標準相場

令和6年12月4日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	6
南洋材・中国材	2
米材役物製品	3
米材製品	1
(2) 値下げ品目	3
合板	3

○今月の市況動向

11月の商況は、先月までと同様に荷動きは低調な内容が多かったが、「問屋特卖会の売上は昨年比7.8% UP」「先月に比べ持ち直した印象」などの発言も聞かれた。プレカットにおいても受注・出荷ともにまずまずとの報告であった。

(国産材) 構造材では、荷動きの回復に力強さは無いが、店舗関係・イベント関係は忙しく、注文材の動きは良いとのこと。秋田では原木の値戻しの報告もあった。

(輸入材) スプールス盤が値上がり品目となった米材役物では、丸太伐採コストの上昇から、今年の伐採量は従来の半分以下との報告があった。米材製品・北洋材・北欧材においても11月の入荷量は大幅に減少した。埠頭在庫の減少により、品薄、欠品サイズも出てきているとの報告。米松45×60では値を上げることになった。

(合板) 値下げ品目となった針葉樹構造用合板においても、トラック問題等から、納期はかかるようになってきた。下がり過ぎた価格により採算悪化したメーカー側から、価格下げ止めの表明があり、今後はメーカーの本気度が試される。輸入合板では、12mm系を中心に荷動きは回復しているように感じるとの報告であった。